

北陸先端科学技術大学院大学

【N085 北陸先端科学技術大学院大学】

	北陸先端科学技術大学院大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	大学院情報科学研究科 (M:126 D:37) 大学院マテリアルサイエンス研究科 (M:120 D:35)
沿 革	平成2 (1990) 年 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 平成3 (1991) 年 大学院材料科学研究科博士前期課程・博士後期課程設置 平成18 (2006) 年 大学院材料科学研究科をマテリアルサイエンス研究科に改称
設置目的等	<p>平成2年、先端科学技術分野の急速な進展に対応し、これらの分野に係る高度の基礎研究を推進するとともに、大学等の研究者のみならず、企業等において同分野の研究開発等を担う研究者、技術者等の組織的な養成及び再教育を行うことを目的とし、学部を置かず、柔軟な教育研究体制を構築できる大学院のみを置く大学として北陸先端科学技術大学院大学が設置された。</p> <p>先端科学技術分野のうち、極めて急速な発展が見込まれる情報科学、材料科学に係る先導的な人材の養成を行うこととされ、大学の設置と同時に情報科学研究科が設置され、平成3年、材料科学研究科が設置された。(平成18年、材料科学研究科はマテリアルサイエンス研究科に改称。)</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>北陸先端科学技術大学院大学においては、豊かな学問的環境の中で世界水準の教育と研究を行い、科学技術創造により次代の世界を拓く指導的人材を育成するとの理念のもと、学部を置かないことにより、国内外から多様な出身・分野の学生が集まることの特性を生かし、新しい分野を拓き得る人材の育成を行うとともに、柔軟な組織運営により教員や研究者の流動性を確保し、新たな分野への挑戦により先端科学技術の追究を行う大学院大学として、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 先端科学技術の確かな専門性ととともに、幅広い視野や高い自主性、コミュニケーション能力を持つ、社会や産業界のリーダーを育成する。博士前期課程においては、特に、幅広い基盤的専門知識を</p>

理解し問題解決に応用できる人材育成の役割を、また、博士後期課程においては、世界的に通用する高い研究能力と俯瞰的な視野を持ち、問題の発見と解決のできる研究者・技術者育成の役割を果たす。

- 体系的コースワーク、厳格な成績評価による質保証等の先進的大学院教育システムや英語のみによる学位取得、多数の外国人教員・留学生、世界をリードする教育研究機関との大学院国際協働教育プログラム等、トップレベルの理工系グローバル人材育成体制を構築してきた実績を生かし、世界で活躍する理工系人材の育成を強力に推進する。
- ネットワーク・セキュリティ、理論計算機科学等の情報科学分野、半導体プロセス等のマテリアルサイエンス分野における世界トップレベルの研究実績をもとに先端的な研究を行い、世界や社会の課題を解決する研究に挑戦し、卓越した研究拠点を形成すると同時に、多様な基礎研究や研究科を超えた連携により新たな領域を開拓し、研究成果の社会還元を積極的に行う。
- 産業界での本格的利用・採用に至った産学連携の高い実績を踏まえ、産業界との連携を一層強化し、実社会で活躍する博士人材の育成を促進する。また、知識科学分野との連携により、産業構造や社会の変革を見据えた研究を統合的に展開し、イノベーションに貢献するとともに、地域社会の発展に寄与する。
- 東京サテライトにおける理論と実践を融合した社会人教育の実績を生かし、更に本学の先端的研究成果を取り入れた教育プログラムを開発し、産業界や社会のイノベーションを担う社会人の再教育を行う。